



2026年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社中電工

代表者名 代表取締役社長 重藤 隆文

(コード：1941 東証プライム)

問合せ先 企画本部経営企画部長 宮迫 宏和

(TEL：082-291-9730)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、下記のとおり決定しアップデートしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

添付資料：「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」

参考資料：「中期経営計画2027（2025～2027年度）および中電工グループ2030ビジョンの数値目標の見直しに関するお知らせ」

[https://www.chudenko.co.jp/release/images/p260428\\_02.pdf](https://www.chudenko.co.jp/release/images/p260428_02.pdf)

以 上

---

# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

---

本資料は2025年4月28日にお知らせした内容を更新し  
改めてお知らせするものです。

1. 現状分析
2. PBR向上に向けた取り組み
  - (1) 収益力の向上
  - (2) 資本政策の強化充実
  - (3) IR活動の強化

株式会社中電工

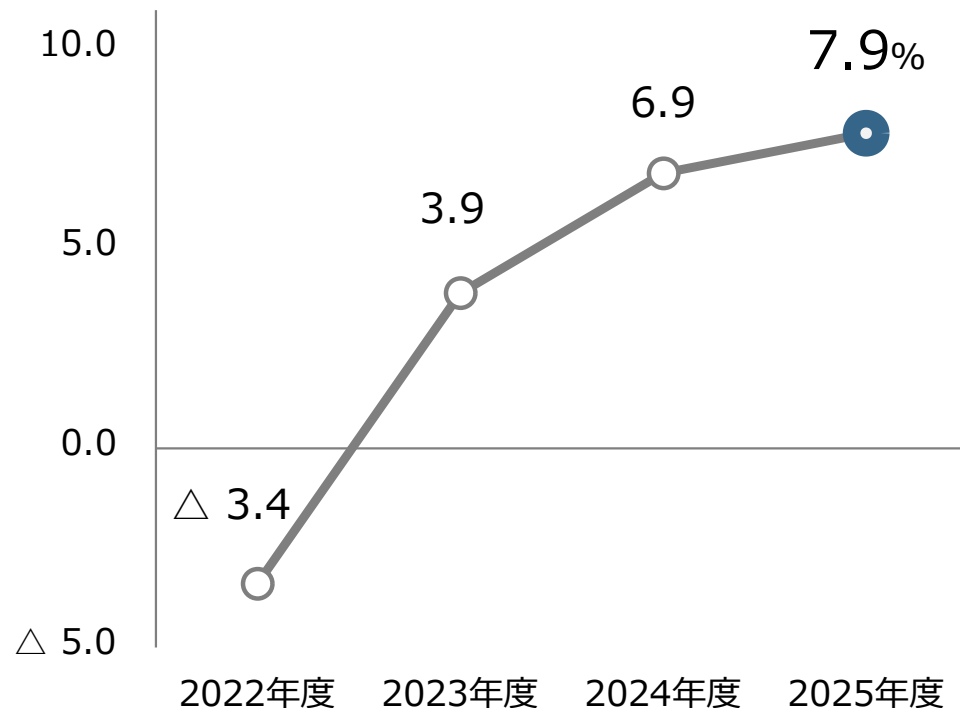
2026年4月28日



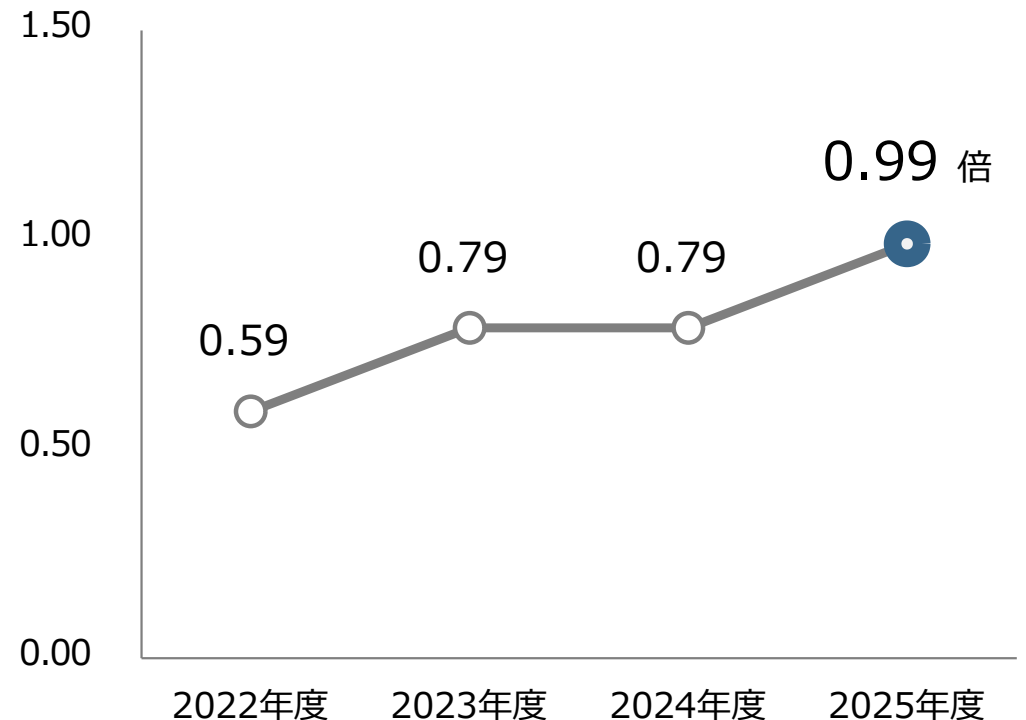
# 1. 現状分析

- R O Eは収益力の向上により、2025年度は7.9%まで改善しており、直近事業年度の株主資本コスト5%程度（C A P Mによる）を上回る状況である。
- P B Rは株価の上昇を背景に、2025年10月末以降は1倍程度の水準で推移している。
- 収益力向上や株主還元の充実、またI R活動の強化などの取り組みの成果が、株式市場環境の好転を背景に市場評価として顕在化しており、引き続きこれらの取り組みを押し進めていく。

### R O E 推移 (%)



### P B R 推移 (倍)



(注) 2024年度のR O Eは、決算数値9.1%から、過去に計上した投資損失を損金算入したことによる法人税等の減少効果（特殊要因）を除いた数値。

## 2. PBR向上に向けた取り組み

- 収益力の向上、資本政策の強化充実およびIR活動の強化により、ROEと株式市場における評価向上を図り、PBRの向上を目指す。



# (1) 収益力の向上

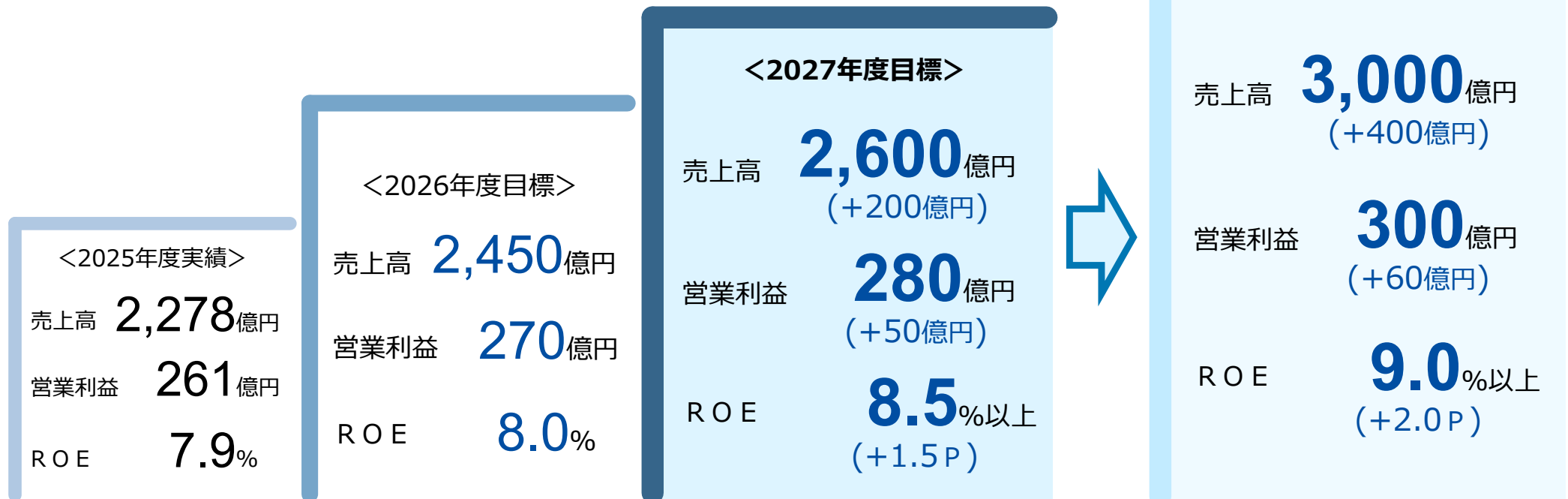
- 中期経営計画2027（2025～2027年度）の諸施策を着実に実行し、2027年度の業績目標を達成、「中電工グループ2030ビジョン」の実現に繋げていく。

## [中期経営計画2027の主要施策]

- 安全・コンプライアンスの徹底と品質の向上
- 営業力・施工力の一層の強化と受注の拡大
- 生産性の向上による利益の創出
- 人材の確保・育成の強化と魅力ある職場づくり
- 成長投資による事業拡大

中電工グループ  
2030ビジョン

## 中期経営計画2027（2025～2027年度）



(注)：( )内は2025年4月28日の公表値からの増減

## (2) 資本政策の強化充実

- 中期経営計画2027の3年間で、事業活動および政策保有株式の売却などで獲得した資金1,000億円を成長投資および株主還元に向けける。
  - 成長投資の拡大：600億円程度  
DX推進など事業基盤強化300億円、環境関連事業など事業拡大300億円
  - 株主還元の充実：400億円程度  
DOE 3.0%を目処とし3年間で配当220億円程度、自己株式の取得枠180億円程度を設定

<b>成長投資の拡大</b>  <b>600</b> 億円程度	事業基盤強化への投資  <b>300</b> 億円程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ DX推進</li> <li>▪ 労働環境整備等の設備投資拡充</li> <li>▪ 人材の確保・育成</li> <li>▪ 技術研究開発 等</li> </ul>
	事業拡大への投資  <b>300</b> 億円程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 環境関連事業</li> <li>▪ 設備工事業の強化・拡大</li> <li>▪ グループ会社の各事業強化・拡大</li> <li>▪ 新規事業 等</li> </ul>
<b>株主還元の充実</b>  <b>400</b> 億円程度 (+50億円)	持続的・安定的な配当  <b>220</b> 億円程度 (+20億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ DOE 3.0%を目処</li> <li>▪ 2027年3月期予想 1株当たり年間配当金140円 (2026年3月期予想から+10円)</li> </ul>
	自己株式の取得  <b>180</b> 億円程度 (+30億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 自己株式の取得枠の設定</li> </ul>

(注)：( )内は2025年4月28日の公表値からの増減

- 決算説明会、適時適切な情報発信などによる株主・投資家の皆さまとの対話促進により、株式市場における評価向上を目指す。

## 株主・投資家との対話の充実

- 決算説明会の開催
- 個人投資家向け会社説明会の開催
- 機関投資家との面談を随時実施

## 情報発信の充実

- 決算説明会資料のウェブページ掲載
- 中電工統合報告書発行
- 適時適切な情報発信

株式市場  
における  
評価向上



# 中電工

将来見通しに関するご注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。